

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取湖陵高等学校

重点項目	地域を支える専門人材育成	提出日	令和4年4月28日
------	--------------	-----	-----------

1 学校目標
「多面的な取組で地域産業を担う専門人材を育てる教育を推進する」 ①実験実習、資格取得などの実践的な教育を基礎に、習得した知識・技能を社会で活用する基礎的な力も養い、勤労観・職業観を育て、キャリアの充実を図る。 ②新たな学び方を通し、生徒の主体的で深い学びを促し他者と協調する能力を養う。 ③人権尊重の心を育て、自他ともに尊重する共生の精神を形成する。 ④生徒一人ひとりの心情を理解し共感と相互信頼に基づいた指導を通して、規範意識を高め、市民としての素養を身につける取組を進める。
2 重点項目に係る目標
新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対策を十分に行いながら、教育活動全体をとおして生徒理解を徹底し、一人ひとりに応じたきめ細かな教育を行う。 (1) 自立を促すキャリア形成能力を育てる教育の推進 ・基礎学力の充実や専門領域の基礎基本を身につけ、資格検定への積極的な挑戦を促す。 ・仲間とともに学ぶ喜びを感じると同時に「学ぶ責任」があることの意識を高める。 ・インターシップや企業・上級学校見学等を通して、ふるさとで働き、学ぶ意識を高める。同時に勤労観・職業観を育成し自らのキャリアを設計する基礎を育てる。 ・高校生として「見られる自分」を意識しながら、市民の一人として有すべき素養と規範意識を高め、自らの人生を自らの手で切り開く意欲と素直さを身につけさせる。また、自身の命を守る意識を醸成し、先の危険を読み取る行動が取れる力を養う。 ・教職員が進むべき方向を揃え保護者や地域と連携し、明確かつ強力な姿勢で生徒を育てる。 (2) 協同の学びで自他を高める教育の推進 ・学びの成果を地域で活かす経験を重ね、意欲を育てる学びのサイクルの確立を目指す。 ・小中学生や県民に積極的に学校を開放し、共に学ぶ経験を重ねることで生徒の学びを深めるとともに本校への理解を深めていただく機会とする。 ・地域活動、ボランティア活動等を通じ「ふるさと鳥取」を愛する心を育てる。 ・障がいのある方や異世代間交流を通し、人権を尊重し自他を愛し共に生きる心を育む。 ・特別な支援が必要な生徒に配慮しつつ個を伸ばす教育を行う。 (3) 学びを創造する力を高める教育の推進 ・実践的な専門教育を通じ、産業界で必要とされるより高度な知識、技能に挑戦する。 ・ICT活用教育を推進し、複雑で高度化する情報社会で生きる力をつける。 ・BYODの成果と課題を検証し、「一人一台端末」を有効に活用した学習環境を実現する。 ・協同学習の理念を基盤にしたアクティブな学びを実践し、主体的で深い学びに導く。

(様式1)

<p>・専門教科と共通教科の連携等の工夫を行い、学力や学習意欲の向上を目指す。</p> <p><数値目標></p> <p>○取得資格の目安・・・資格取得・検定数（卒業までに3個以上）</p> <p>○難易度により3段階に分けた資格や検定に計画的に継続的に資格取得や検定合格に臨む。</p> <p>ベーシックを基礎として、1年から2年時の取得を目指す。</p> <p>・・・概ね受験者の70%以上の合格を目標とする。</p> <p>○アドバンス、スペシャルは、2年後半から3年前半にかけて取得を目指す。</p> <p>・・・概ね受験者の50%以上の合格を目標とする。</p>
<p>3 事業計画（事業名、事業概要）</p>
<p>【高等学校課事業】</p> <p>・外部人材活用事業（社会人講師活用、高校・大学教員交流） <全科15講座実施></p> <p>それぞれの専門分野の講師から直接、知識や技術を学ぶことで専門性の深化と応用を図る。</p> <p>また、地域と連携するなかで地域産業への理解を深め、地域課題の解決能力を身に付ける。</p> <p>・「ようこそ高校へ」ふるさとキャリア教育充実事業</p> <p>キャリア教育を推進するため、学年別に目的を明確にし、事業を実施する。良き社会人、社会の構成者を目指すためにも高校生活を充実させ、常に基礎学力の向上を図ることが大切であることを理解する。</p> <p>1年生：進路ガイダンス（職業別）</p> <p>2年生：マナートレーニング講習</p> <p>3年生：ビジネスマナー講習</p> <p>・東部地区専門高校協同企画「ふるさと専門高校フェスタ」（チャレンジサポート事業）</p> <p>「ふるさと手づくりまつり」で培われた鳥取県東部地区に深く根付いた「ものづくりの文化」を専門高校の生徒が主体となって幼児、小・中学生に伝承していく。また、各専門高校の学習内容を多くの県民の皆様を知っていただけるよう「ものづくり」体験の充実を図り、一人でも多くの方に、ものづくりや専門高校に興味・関心を持っていただきたい。</p> <p>企画・運営等は、生徒実行委員会を立ち上げ生徒が中心になって実施する。令和4年度の事務局を、昨年度に続き鳥取湖陵高校が担当する。</p> <p>【独自事業】</p> <p>(1) 自立する力</p> <p>・インターンシップ事業 <全科2年生></p> <p>東部地区の学校・企業・施設等において、本校で学んだ専門教育等の学習成果を発揮するとともに、勤労観・職業観の育成や社会との関わり方、自分自身の素養をみつめる機会として実施する。</p> <p>・キャリア形成能力育成事業 <全科1年生></p> <p>県内の上級学校や関連企業の見学をとおして、地域教育や地域産業について理解する。また、実際に働いている方や施設や設備の様子から、自分自身の働いている姿を想像し、将来の進路選択に役立てる。</p>

(様式1)

・専門技能育成事業

①技能五輪全国大会・若年者ものづくり大会 <緑地デザイン科>

標記大会への出場を目指し、学習を積み重ね、生徒の意欲向上や専門技術の向上を図る。

②フラワーデザインの技術向上 <緑地デザイン科>

プリザーブドフラワーの作品を制作、展示し校外に学習内容をPRする。

③庭園の設計・製作と出展 <緑地デザイン科>

協力して作庭し、連帯感などを育む。多くの方が来場する会場に展示し、成果を発信する。

④緑地デザイン科技術講習会 <緑地デザイン科>

「造園技術検定」、「フラワー装飾技能検定」の実技練習を実施し、合格率の向上を図る。

⑤持続可能な土づくり <食品システム科>

農場で発生する植物残渣を処理施設に持ち込み、たい肥化し本校農場で使用する。

⑥AIプログラミングコンテスト <情報科学科>

全国の情報学科が競うコンテストへの参加を通して、実践的な活用能力を高める。

・湖陵版資格スタンダード事業 <全科全学年>

各科で重点的に取り組む資格を生徒にわかりやすく説明するため、専門科目や特に重要視する部分を明示し、学習意欲の向上や課題研究への接続を円滑にすることを目的とする。資格の見える化を図り、教科指導の充実や生徒の資格取得をしっかりと支援する。

・基礎学力養成事業 <全科全学年>

夏季休業中に大学生等を招き、生徒への学習を支援してもらうことで、より効果的な学力の定着を図ることを目指す。

(2) 協同する力

・ふるさと交流事業

①地場産プラザ「わったいな」における生産物販売実習 <食品システム科>

校内で栽培・加工した生産物を直売センターで販売することで、流通・販売までを総括した学習を実践する。土曜日に実施することで、本校の教育内容を多くの県民にアピールするとともに販売技術や接客マナーの向上につなげる。

②小学校・特別支援学校等との園芸交流 <緑地デザイン科>

異世代との園芸を通じた交流を行い、習得した技術、コミュニケーション力向上を図る。

③RCカー・ロボット・工作で世代間交流 <電子機械科>

わらべ館や地域の各種イベントとの連携、学校独自にRCカーやロボットを使った展示イベントやRCカーの走行会、工作のワークショップを運営する。

④福祉交流体験 <人間環境科>

鳥取医療センター重症心身障がい者施設等において、障がい者自立支援活動体験、重症身体障がい者介護体験、音楽セラピーの実施等に取り組む。

⑤iPad・プログラミング交流 <情報科学科>

特別支援学校を対象としたiPad活用支援交流や地域の小学生を招いてのプログラミング交流授業を開催する。

(様式1)

⑥園芸セラピー <全科全学年>

ボランティア部を中心に利用者の方と草花や作物の栽培、フラワーアレンジメントなどの作品作りを行う。

・魅力発信事業

①中学生体験入学

中学3年生に本校の特徴である総合選択制や教育内容を理解してもらうことを目的とする。各科および各コースの実習内容を体験してもらう。

②中学校出前授業

主に中学1・2年生を対象に、本校教員・生徒が中学校へ出向き、専門高校の各学科の基礎的な体験を通して専門高校への理解や興味・関心を深めてもらう。

・湖陵フェスタ事業

本校専門教育の学習内容や教育環境を広く県民に周知するとともに、教育内容改善の一助とするものである。地域との連携はもちろん、中学生や保護者の本校教育内容の理解の促進に資する。また、この取り組みの準備や販売・展示を通して、生徒の学習意欲の向上につなげる。

(3) 創造する力

・実践による創造力向上事業

①JGAP <食品システム科>

令和元年にJGAP審査を受け、認証された。維持審査を令和4年6月に予定している。

②HACCP <食品システム科>

鳥取県版HACCP認証鳥取湖陵ブランド食品(湖陵オリジナル「とっておきいちご」天然酵母パン)の開発を行う。

③鳥大前駅フラワー装飾 <緑地デザイン科>

駅構内の壁面に花壇装飾を設計・制作し、学習内容の成果をPRする。

④学校緑化プロジェクト <緑地デザイン科>

学校敷地内に庭園や樹木園を設計・施工し、緑化を図るとともに学習成果を発揮する。

⑤ふるさと鳥取の環境保全 <緑地デザイン>

湖山池を題材として生物調査を行い、環境の変化を考察する。そして、環境保全のためにバイオテクノロジーの技術を活用する。

⑥レゴロボットによるプログラミング教育 <電子機械科>

国際的ロボットコンテストWRO大会への参加を通して学習内容の深化を図る。

⑦AVRマイコンを用いたIoT学習 <電子機械科>

電子回路・機械加工などの知識・技能を活用して、身近にあるIoT機器の製作を行う。

⑧ファッションショー <人間環境科>

「ファッション造形基礎」の授業の成果発表として、学校祭でファッションショーを開催する。

⑨鳥取県の魅力発信事業 <情報科学科>

(様式1)

鳥取県食のみやこ推進課と連携し、地元デザイナーに助言をいただきながら、本県ノベルティグッズを制作する。

⑩スマート農業 <緑地デザイン科・電子機械科・情報科学科>

工業、情報、農業科が連携し、小型コンピュータ（ラズベリーパイ）を活用して、湖陵版スマート農業に取り組む。

⑪起業家教育事業 <農業学科>

各種緑化フェアなどのイベントや地場産プラザ「わったいな」で販売実習に取り組む。

・指導力向上事業 <食品システム科>

東洋食品工業短期大学の社会人育成講習会の食品総合技術コースを受講し、食品分析技術、食品製造技術、密封技術を習得し、加工食品製造現場における「総合的なマネジメント能力」を身に付け本校の食品製造実習に活かす。

※枚数任意